

# 山寺通信

## 鶏谷山花栄寺だより

今号の記事：

- 玄奘三蔵(げんじょうさんぞう)のこと
- 山内清掃行われる

- 盆うちのご案内
- 合同供養墓工事始まりました
- 団参旅行について

## 玄奘三蔵(げんじょうさんぞう)のこと

30年以上前、「西遊記」というテレビ番組がありました。堺正章さんが孫悟空、西田敏行さんが猪八戒、岸部シローさんが沙悟浄を演じていました。彼らを従えて天竺(インド)に旅をするのは、故・夏目雅子さん演じる三蔵法師。いつも白い馬に乗っている頼りないキャラクターで、すぐ敵方の妖魔にかどわかされてしまうのに、お経ひとつで孫悟空のアタマの輪を締め上げることもできるという、不思議なお坊様でした。



玄奘三蔵図

この三蔵法師には実在のモデルがいます。西暦602年、洛陽に生まれた玄奘です。若いころから仏教の勉強に熱心だった玄奘は国禁を破ってまでインドに赴き、17年にわたって各地で仏法を学びました。また膨大な経典を集め、長安に帰ってきたのです。その後、太宗・高宗の援助を受けながら仏典の漢訳に従事しました。仏典を納めるため大雁塔(西安市)を建立し、この塔は今日世界遺産に登録されています。664年2月5日、大般若経600巻の翻訳校了から百日後に亡くなった大仏法者で、玄奘三蔵の前に玄奘三蔵無し、玄奘三蔵の後に玄奘三蔵無かるべしと称えられ、国葬が営まれたそうです。

玄奘は、仏教伝来から間もない日本にも多大な影響を与えました。遣唐使のひとり道昭は彼の愛弟子となり、唯識教学を学びました。それは「この世のすべてのものは心が生み出している」という教えで、玄奘がインドへ命がけの旅をして向かったのも唯識教学を修めるためであったといわれます。奈良県の薬師寺や興福寺に代表される法相宗の根本的な思想ですが、漢訳されなかったら現在のような形で伝わることもなかったかもしれません。この意味で玄奘

は日本仏教界にとっても偉大な存在であり、彼の生涯は、ドラマの主人公以上に光り輝いているといってもよいでしょう。

この玄奘の頂骨(頭蓋骨)を奉安するお寺が日本にあります。さいたま市岩槻区にある天台宗慈恩寺様です。



玄奘三蔵塔と立像

玄奘の亡くなった後、遺骨は数奇な運命をたどりました。幾度か散逸と再発見を繰り返して宋の時代に首都南京に移されたのですが、そこでも農民の暴動があり、行方が分からなくなってしまいました。しかし時は下って1942年、南京に駐屯していた日本軍が神社を建立するために丘陵地を整地していたところ、人間の頂骨(頭の骨)を納めた箱が出土しました。詳しく学術調査した結果玄奘のものと認定され、中華民国政府の所属となったのですが、その際、分骨されて我が国にもたらされたのだそうです。幾多の変遷を経て、今は慈恩寺様が玄奘塔を建立して管理しているらしいのです。また、そこから薬師寺にも分骨され、そちらには玄奘三蔵院伽藍が建てられ奉安されています。

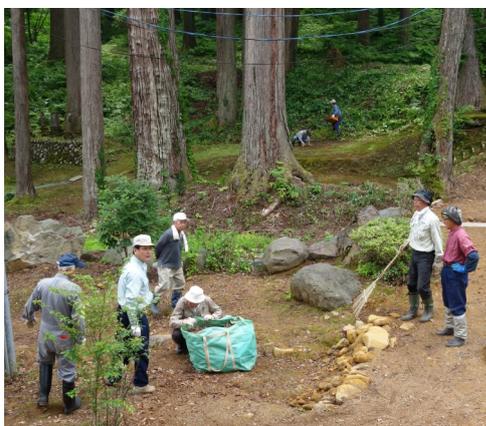
考えてみると、不思議な話です。玄奘三蔵という方の御遺骨が遠く外国ではなく、日本国内にある。それも伝説の域にとどまる話ではなく、歴史的存在として身近な場所に納められていたのです。一方で、自分は仏教の道を歩んでいなかったらテレビ番組の三蔵法師から一步も出ることはなかったでしょう。ご縁をいただき僧侶となり、玄奘三蔵をいささかなりとも知ることを得て、そしてようやく邂逅を果たすことができたように思います。今年のお寺の旅行でも玄奘三蔵塔を参拝する予定ですので、ご都合のつく方はぜひご参加ください。

## 山内清掃行われる

5月28日、山内清掃を実施いたしました。はじめに、開講式として本堂で般若心経をお唱えしました。それから半日かけて本堂清掃、ガラス拭き、庭清掃、草刈り、剪定などの作業を分担して行いました。また、この機会に玄関前のコンクリートを補修していただきました。

今回初めて企画したところ、参加者28名と思いがけず大勢の皆様が呼び掛けに応じてくださいました。当初、住職が昼食を用意するという予定でしたが、女性の皆さんからおにぎりや豚汁の調理を作って頂き、有りがたい誤算となりました。男性の皆さんは戸外の作業を担当していただきました。気

温も上昇し蒸し暑い天候のもとでの作業は、大変だったことだと思います。心より感謝申し上げます。



## 盆うちのご案内

下記日程により、盆うちの法要を厳修いたします。土、日に渡っておりますが、ご都合のよい日にお出でください。

期日： 7月9日(土)、10日(日)

日程： 10時30分 法話

11時 法要

法要終了後、おとし

## 合同供養墓工事始まりました

かねてより計画を進めてまいりました合同供養墓の工事が着工いたしました。完成は9月中旬です。



上：本体部分に鉄骨を並べています

右：参道側から本堂方向を見上げた様子



## 団参旅行について



11月13日～14日の日程で団参旅行を計画いたしました。今年は、群馬県渋川市の双林寺様(北条普広寺の御本寺)を拝登した後、埼玉県さいたま市岩槻区の玄奘三蔵塔を目指します。二日目は大河ドラマで注目されている長野県まで足を延ばします。旅程表ができ次第、案内をお配りいたします。大勢のご参加をお待ちしております。